

福岡教育大学との共同研究プロジェクト実践の広がりについて
平成26年5月現在の報告から

平成25年度の共同研究プロジェクト理科：生物分野の実践が他の小中学校に広がったり、大学の別の研究に生かされたりしています。

平成24年度～26年度・科学研究費助成事業
「小学校・中学校の理科授業構成への大学による生物教材支援基盤の確立とその有効性の検証」
福岡教育大学 理科教育講座生物担当
西野秀昭先生による研究

平成25年度
宗像区の小中学校の教師に
アンケート調査の実施

平成25年度
共同研究プロジェクトで
生物の研究授業の実施

○理科授業を行う上で困ったことがある経験
○生物分野の授業で準備や結果で困ったことや実験や観察でうまくいかなかったことは何か。
○どんな教材や実験器具があれば活用できるか。

宗像地区の小中学校の教師から西野研究室にあった依頼
<平成26年度>

- ①河東小学校5年生(代表毛利先生)
ファストプランツの種と栽培に必要なもの一式・メダカの飼育水(釣川上流の水30L)
- ②河東小学校6年生(代表飛永先生)
鉢植えのジャガイモのサンプル・インゲンマメとホウセンカの種子
- ③赤間西小学校(代表木下先生)
鉢植えキャベツ10個・キャベツの肥料・花と野菜の土、フラワーベル・種子
- ④自由ヶ丘南小学校(池田先生)
鉢植えキャベツ・ゾウリムシ・ミドリムシ
- ⑤中央中学校(井料先生)
遺伝：分離の法則・細胞分裂観察用教材

<平成25年>

南郷小学校(九重先生)：玄海東小学校(麻生先生)：玄海小学校(盛永先生)・東郷小学校(今谷先生)：福津市立上西郷小学校(吉村先生)

ファストプランツの種子と栽培に必要なもの一式

※ ファストプランツは昨年度 共同研究プロジェクト理科教育部門で自由ヶ丘南小学校が6月に研究授業をしたものです。この実践が宗像地区に広がりました。

西野先生からのメッセージ

生物教材支援事業が多くの先生方に広がり活用していただけてうれしい。今後も大学で培ったノウハウ及び資源を更に多くの先生方に活用して頂きそれが子どもたちの健やかな成長に少しでも寄与できればと思っています。

平成26・27年度宗像市・福津市教育委員会・福岡教育大学連携による共同研究プロジェクト(第2期) 第1回担当者会議の報告 5/12 実施

I ICT教育



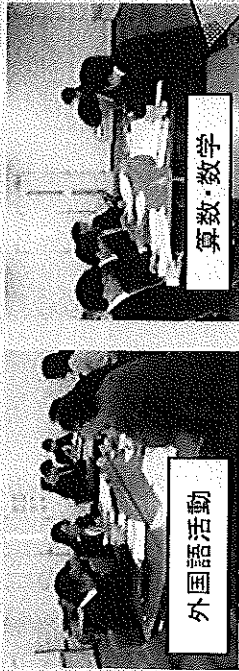
研究モデル校 河東西小学校
玄海中学校
研究分担者 縄田・廣瀬 教諭
川口主幹
福岡教育大学 古川教授

- 校内研究にうまのせていく。
- 6/3(玄海中)・6/17(河東西小)に交流会を実施する。
- 電子黒板・小電子黒板・タブレットを積極的に活用したい。

第2期の特徴

- 全ての部門で研究モデル校を設定することができました。
- 福津市にもモデル校ができました。

II 新学習指導要領に対応した新教材開発と地域教材・人材の活用
外国語活動・算数数学



外国語活動

算数・数学

外国語活動
研究モデル校 赤間小学校
研究分担者 守主幹教諭
福岡教育大学 森・中島 教授
吉武准教授

算数・数学科
研究モデル校 福岡小学校
研究分担者 武教諭
福岡教育大学 重松教授
岩田・今井 准教授

- 校内研修にからめる。
- まず、大学の先生方に授業をみていただく
- 研究前後の生徒の意識調査を実施する。
- 学級担任が外国語活動をできるようにする。

齊藤主幹



大内研究代表



伊藤副理事



教育委員会を代表して齊藤主幹教育大学からは連携推進室の大内准教授、知の拠点事業担当副理事の伊藤教授から挨拶や説明をしていただきました。

外国語も算数・数学も教育大の若い先生方が積極的！

III 特別支援教育



研究モデル校 自由ヶ丘小学校
中央中学校
津屋崎中学校
研究分担者 青野主幹・佐々木主幹
森田主幹・高山教諭
福岡教育大学 西山・納屋 教授

- 3つのモデルにわけて研究を進める。
- 大学院生の実習がある自由ヶ丘小学校を第1のモデルとして研究を推進する。その過程を中央中、津屋崎中に生かしていく。

- 1 福岡教育大学には、新プログラムや新教材の開発・研究の深化やその成果を学生の育成に役立てる。
- 2 小中学校の現場には、教師の授業力・経営力・組織力を高めると共に学校長の学校経営に役立てる
- 3 両市教育委員会には、大学と学校現場の連携を長期的なものにすることで教育施策の推進を図る。